

『幸』

令和3年6月7日（月）

『心』をきれいに、『普段のことから真剣に』できるようにしましょう★☆☆

気づけば6月も2週目、時間が経つのは早いですね。先週の金曜日、学年集会や総合の時間にたくさんお話がありました。話されたことを思い出すことができますか？一つは『掃除』の話、今日も廊下の掃除をされていましたが、学校がきれいに保たれていることは本当に大切です。誰もが汚いより、きれいな環境で過ごす方が気持ちが良いと思います。でも「誰かがやってくれる」「これくらいなら大丈夫」といった気持ちで、日々過ごしている人もいるかもしれません。

学校や教室は誰かだけのものではなく、『みんなのもの』です。だから一部の人だけが掃除をするのはおかしいし、逆に自分勝手に使う人が多くなると汚れていきます。学年の先生もおっしゃっていましたが、掃除をすることでその場所だけでなく、自分の『心』もきれいになり、気持ちが落ち着きます。それに、落ちているごみや汚れに気づけることで、周りの仲間のことにも気づけるようになります。ぜひ当番以外の日も含めて、一人ひとりが意識・行動してください。

6限の防災教育の取り組みでは、岩手県の『釜石東中学校』の紹介をしました。避難訓練を真剣に取り組んでいたことで、震災当日も自分たちで避難できたとおっしゃっていましたが、タイトルの『普段のことから真剣に』という言葉は、何も避難訓練の時だけではありません。授業や取組、部活動や委員会活動など、全ての学校生活を真剣にするという意味に捉えてください。

『命』というのはたった一つです。どれだけ悲しんでも後悔しても戻ってきません。4月から伝え続けてきたように、いじめや人を傷つける行為などをしないことはもちろんですが、自然災害に対しても備えることが大切です。何か突発的なことが起こった時にも、慌てず行動できるように、何事にも真剣に取り組んでください。真剣とは決して真面目にするというだけではありません。楽しむ時は楽しむ、笑う時は笑う。メリハリをつけて、学校生活を送ってください。

ぜひ『心』をきれいにし、何事にも『真剣』に取り組む、助けられる人から『助ける人』になってください。暑くなってきましたが、今月も頑張っていきましょう。応援しています！！

真剣だと
知恵が出る
中途半端だと
ぐちが出る
いい加減だと
言い訳が出る